

平成30年度 第2回 田無警察署協議会 議事概要

開催日時 平成30年09月26日 午前10時30分～午後00時15分

開催場所 田無警察署 4階講堂  
出席者 協議会委員 9名  
署長ほか 3名

内 容

会議に先立ち、刑事組織犯罪対策課長、警備課長の出席について各委員から承諾を得た。

[業務説明]

- 1 学校敷地内地中から銃・剣2900点の発見について  
市立田無小学校敷地内、深さ1～2メートルの地中から旧日本軍のものとみられる銃砲や刀剣類等が大量に見つかった。  
各行政機関と連携し安全性の確認を行い、西東京市では一部展示を検討していると今後の対策について説明した。
- 2 秋の全国交通安全運動の実施について  
昨年11月からの10か月間、管内での交通死亡事故はゼロである旨を説明した。  
現在、自転車事故と高齢者による事故の防止に重点を置いた各種取組を推進しており、人身事故の発生件数の減少に向け、署員一丸となって取り組んでいる旨を説明した。
- 3 管内の事案情勢等について  
前回会議以降の刑法犯の認知状況について説明した。また、本年に入って特殊詐欺が増加傾向にあることから、特別警戒を実施中である旨を説明した。

[警察署の業務に関する意見等の聴取]

- 1 署長から協議会への説明内容
  - (1) 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて
    - ア 大会の特徴  
オリンピック・パークではなく、中心市街地での開催
    - イ 交通対策  
交通需要の抑制・分散・標準化
    - ウ 警備対策  
・民間連携  
・大会時の大地震・テロの発生を想定したシミュレーション訓練
  - (2) 共助体制の更なる構築（震災をはじめとする各種災害対策）
    - ア 関係防災機関との連携  
市役所、消防署、保健所等の防災機関との連携を一層深めて、発災時の総合対処能力を高める。
    - イ 「共助の輪」の拡充  
地域の主体となる町会や自治会、事業所等と協働した防災対策により、「共助の輪」を更に拡充することで地域の絆を再生し、「災害に強い街づくり」を推進する。
  - (3) 学生ボランティアの育成
    - ア 学生ボランティアの必要性  
災害発生時に学生達の若い力は街の大きな力となる。
    - イ 武蔵野大学「M・U・Tピーポーズ」の発足  
平成30年6月27日、当署と武蔵野大学による協同ボランティアチーム「M・U・Tピーポーズ」を発足。

以上について説明し、更なる取組のあり方について意見等を求めた。
- 2 警察署協議会からの意見要望等
  - (1) 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けてについて
    - ア 大会時の交通の見通し今後の対策についてよく理解できた。今後大会に向けて、交通混雑の緩和を実現する取組として、私たち市民が今から協力できる取組について、警察署から町会や自治体への働きかけをお願いしたい。
    - イ 大会時の大地震・テロの発生時の対策は、各委員が地域活動で伝える。  
民泊関係では、新聞、テレビ等での報道で身近な問題として不安を持っている住民がおり、そのような方々の不安を取り除くため、丁寧な説明をお願いしたい。
  - (2) 共助体制の更なる構築（震災をはじめとする各種災害対策）について
    - ア 学生ボランティアの発足では、災害発生時に学生達の若い力は街の大きな力とな

ります。「共助の輪」を更に拡充することで地域の絆を再生し、「災害に強い街づくり」を強力に推進していただきたい。

イ 各自治体においても課題となっている、震災発生時の高齢者対策等、実践的な教養訓練を実施してもらいたい。

ウ 地域には空家が増え、放置状態のままの空家も多く目にするようになり倒壊等の危険性も考えられることから、危険箇所等実態調査の対象としていただきたい。

(3) 学生ボランティアの育成について

署長からの説明のとおり取り組んでいただきたい。

[その他の意見要望等]

1 委員から、「『コンビニ強盗』の発生について説明を受けたが、年末に向けて増えることが十分に予想されるので警戒強化、再発防止対策をお願いしたい。」旨の要望があった。

2 委員から、「新青梅街道等の幹線道路の街路樹が信号機、道路標識等の視野の妨げになり危険性があると思うが、確認と対処をお願いしたい。」と要望があった。

3 委員から「特殊詐欺の騙しの手口が悪質巧妙化していると聞いたが、どのような手口なのか。」と質問があり、署長から最近の手口等について説明した。

4 委員から「震災発生時の『自助』、『共助』、『公助』の三助について説明してほしい。また、自治会等で活用したいので資料の配布をお願いしたい。」と要望があり、警備課長から、『三助』、資料の配布要領等について説明した。

その他

次回(平成30年第3回)の会議は、平成30年12月21日に開催予定とした。

詳細な会議録については、各警察署及び警視庁情報公開センターにおいて閲覧することができます。

平成30年度 第1回 田無警察署協議会 議事概要

開催日時 平成30年06月21日 午後04時00分～午後05時15分

開催場所 田無警察署 4階講堂  
出席者 協議会委員 10名  
署長ほか 3名

内容

会議に先立ち、生活安全課長、刑事組織犯罪対策課長の出席について各委員から承諾を得た。

[業務説明]

- 1 管内の治安情勢等について  
前回会議以降の「侵入窃盗、特殊詐欺等の犯罪発生状況、検挙状況と抑止対策」、  
「交通事故発生状況と春の全国交通安全運動の取組状況」等について説明した。
- 2 協議会からの意見要望の取組結果について  
平成29年度第4回会議において出された「管内における犯罪発生状況と発生状況に  
即した犯罪抑止対策」について、特殊詐欺発生状況、特殊詐欺被害防止に向けた犯罪抑  
止対策、キャッシュカード手交型特殊詐欺検挙対策及び今後の対策について説明をし  
た。

[警察署の業務に関する意見等の聴取]

- 1 署長から協議会への説明内容  
管内の犯罪発生状況と検挙対策（特殊詐欺）
  - ・ 被害発生時における初動捜査を徹底
  - ・ 早期の現場資料収集と防犯カメラ等の捜査（画像の手配を徹底）
  - ・ タクシー会社、コンビニエンスストア等との連携による不審者、関連情報の収集  
などについて説明した上で、各種対策に向けた取組のあり方などについて、意見等を求  
めた。
- 2 警察署協議会からの意見要望等
  - ・ 防犯カメラの重要性についてよく理解できた。今後も防犯カメラの設置が進むよ  
うに、警察署から各企業、ビル管理協会等への働きかけを継続していただきたい。  
またプライバシーが侵害されるのではないかなどの不安を持っている住民がいる。  
そのような不安を取り除くため、丁寧な説明をお願いしたい。
  - ・ 様々な地域の特性を活かした地域住民との協力体制の更なる強化と確立をお願い  
したい。

[その他の意見要望等]

- 1 委員から「防犯効果を高めるため、防犯カメラが設置されていることを周知する工夫  
をしてほしい。」旨の要望があり、署長から、プライバシー等への対策を講じ他官庁と  
連携して、安心して生活できる街の実現に努めたい等説明した。
- 2 委員から「特殊詐欺、騙しの手口の変化について教えてほしい」旨の質問があり、署  
長から、最近の手口等について説明した。
- 3 委員から「これから、台風の接近等により被害が予想される時期に入るが、どのよ  
うな対策を講じているか。」との質問があり、署長から、平素から危険箇所、冠水が予想  
される河川、幹線道路や地域の実態を資料化し、被害発生時には速やかに警戒員を配置  
して現場状況の把握と適切な現場活動に当たらせる体制の構築を図っている等説明し  
た。

その他 次回（平成30年度第2回）の会議は平成30年9月17日に開催予定とした  
。

詳細な会議録については、各警察署及び警視庁情報公開センターにおいて閲覧する  
ことができます。

平成29年度 第4回 田無警察署協議会 議事概要

開催日時 平成30年03月22日 午前10時30分～午前11時50分

開催場所 田無警察署 4階講堂  
出席者 協議会委員 9名  
署長ほか 3名

内 容

会議に先立ち、交通課長、生活安全課長の出席について各委員から承諾を得た。

[業務説明]

- 1 総合的な交通事故防止の推進及び管内の交通事故状況等について説明した。  
4月6日から実施される「春の全国交通安全運動」における、新スローガン「世界一の安全都市TOKYOを目指して」及び交通事故減少に向けた取組内容等について説明した。
- 2 管内の治安情勢等について  
前回会議以降の刑法犯の認知状況について説明した。  
本年に入ってからの特種詐欺被害の発生状況及び、今後の対策内容等について説明した。
- 3 協議会からの意見要望の取組結果について  
平成29年度第3回会議において出された「管内の事故情勢と交通事故防止対策」について、昨年の交通人身事故発生状況と交通事故分析に基づく方針を立て、交通事故防止特別対策を推進した結果、交通人身事故の発生を抑止、減少している旨を説明した。  
また、「取締り活動ガイドラインの説明要望」について、交通課で作成した『田無警察署駐車取締りガイドライン』を活用し、本年からの新しいガイドラインの運用開始等の説明をした。

[警察署の業務に関する意見等の聴取]

- 1 署長から協議会への説明内容  
特種詐欺の現在の手口と発生状況  
各種抑止対策推進状況
  - ・固定電話の常時留守電設定、無人ATM対策、電子マネー対策等
  - ・管内の隅々まで行き届く、被害防止に係る地域安全情報の発信
 などについて説明した上で、各種対策に向けた効果的な諸対策の強力推進、取組のあり方などについて意見を求めた。
- 2 警察署協議会からの意見要望等
  - ・特種詐欺の手口や発生状況をより多くの市民に周知し、被害防止を図るため、関係機関・協力団体、さらに福祉関連では訪問介護等を中心に活動するヘルパーさん等への協力要請を実施する等、隅々まで行き届くより具体的な地域安全情報の発信活動を進めていただきたい。
  - ・電話に出ないための対策として、署員一丸となった架電作戦により、「固定電話を常時留守電にさせる」、設置はあるも「留守番設定が分からない」等の高齢者世帯への戸別訪問等を同時進行するとともに、自動通話録音機の設置促進を強力に協力を推進していただきたい。

[その他の意見要望等]

- 1 委員から、「幼稚園の周辺で、未就学児を携帯電話で撮影していると思われる不審者の徘徊が目撃されているので警戒をお願いしたい。」旨の要望があった。
- 2 委員から、「特種詐欺の騙しの手口が変化していると聞いたが、どのように変わったのか。」と質問があり、署長から最近の手口等について説明した。
- 3 委員から、「春の全国交通安全運動」が実施されるが、各委員の地元でも各種集会等で議題に上がるが、安全運動に向けての意見をお願いできないか。」と質問があり、交通課長から安全運動のメインスローガンの意味、重点等について説明した。

その他

詳細な会議録については、各警察署及び警視庁情報公開センターにおいて閲覧することができます。

平成29年度 第3回 田無警察署協議会 議事概要

開催日時 平成29年12月18日 午前10時30分～午前11時50分

開催場所 田無警察署 4階講堂  
出席者 協議会委員 9名  
署長ほか 3名

内容

会議に先立ち、地域課長、交通課長の出席について各委員から了承を得た。

[業務説明]

- 1 管内の治安情勢等について  
前回会議以降の「検挙状況及び刑法犯認知状況と傾向」、「交通事故発生状況」、「特殊詐欺の発生状況と抑止対策」等について説明した。
- 2 年末年始特別対策の実施  
12月20日から新年1月3日までの間、年末年始特別警戒を実施、街頭活動を中心とした各種対策について説明をした。
- 3 協議会からの意見要望の取組結果について  
平成29年度第3回会議において出された「高齢者を始めとする被害対象者への戸別訪問等による直接的な注意喚起、被害防止対策を実施していただきたい。」旨の要望については、「特別巡回連絡による高齢者宅重点訪問活動」、「ふれあい連絡協議会の開催」、「自治会や老人会等での防犯講話」を実施したほか、自動録音機の更なる導入設置に伴う市役所等行政機関への協力要請と進捗状況について説明した。

[警察署の業務に関する意見等の聴取]

- 1 署長から協議会への説明内容  
11月発生 of 重大交通事故の発生状況  
交通事故発生状況の説明の中で、11月中に発生した3件の死亡事故の状況と再発防止対策。  
重大交通事故発生に伴う特別対策  
年末に向けた各種交通事故抑止対策  
等について説明した上で、再発防止対策について取組みのあり方などについて意見を求めた。
- 2 警察署協議会からの意見要望等
  - (1) 高齢者対策  
生活サイクルポイントにおいての声かけを実施、「交通安全情報」チラシを配布しての交通安全指導のワンポイント教養の実施
  - (2) 自転車対策  
交通ルールを守らない走行を現認した場合は、看過することなく警笛を吹鳴した指導警告の実施  
特に、これまでの説明で、高齢者、自転車の関与する事故が多く発生している実態が分かりました、「高齢者、自転車」に対する取組みの強化をお願いしたい。

[その他の意見要望等]

- 1 委員から、前回の協議会で「駐車監視員活動ガイドラインの見直しを行っている」と聞いたが変わったのか。」と質問があり、交通課長から変更点について説明した上、警視庁ホームページにおいて、改定されたガイドラインを公表している旨説明した。
- 2 委員から、「自転車の交通事故を減らすため、今後もあらゆる機会を捉えて安全教育を実施、特に交通安全指導等のワンポイント教養を積極的に実施する必要がある」と考える。」旨の意見があった。
- 3 委員から、「特殊詐欺の騙しの手口が変化していると聞いたが、どのように変わったのか。」と質問があり、署長から最近の手口等について説明した。
- 4 委員から、「先日、町会の会合でふれあいポリスの活動を知った。良い施策なので、もっと地域の住民にPRしたほうが良いと思う。」旨の意見があり、署長から活動状況の説明と今後の対策について説明した。

その他 次回（平成29年度第4回）の会議は平成30年3月15日に開催予定とした。

詳細な会議録については、各警察署及び警視庁情報公開センターにおいて閲覧することができます。

平成29年度 第2回 田無警察署協議会 議事概要

開催日時 平成29年09月26日 午後01時30分～午後03時00分

開催場所 田無署講堂  
出席者 協議会委員 9名  
署長ほか 3名

内容

会議に先立ち、警備課長、地域課長の出席について各委員から承諾を得た。

[前回の答申等に対する警察署の取組結果]

「災害に強い街づくり（防災対策と被害の抑止）のための取組強化」について  
過去の震災や、近年頻発している洪水による大規模な水害では、発生直後の近隣同士の助け合い、いわゆる「自助」「共助」に基づく行動により多くの命が救われた。  
この貴重な活動記録等を活用し、資機材及び部隊編成の見直し、他官庁、自治体への職員派遣による情報共有訓練等を実施するほか、パートナーシップ活動や、地域の様々な主体が参画する活動を通して、地域の一体化を促進し共助の輪を拡充する活動を実施した旨の回答をした。

[業務報告]

前回会議以降の「特殊詐欺等の指定重要犯罪発生・検挙状況と抑止対策」、「交通事故発生状況と秋の全国安全運動の取組状況」等について報告した。  
交通事故発生状況の説明の中で、6月24日に発生した死亡事故の状況と再発防止対策について説明した。

[諮問]

地域活動を通じた特殊詐欺等重点犯罪の検挙と抑止対策の推進について

[答申]

高齢者を始めとする被害対象者への戸別訪問等による直接的な注意喚起、被害防止対策を実施していただきたい。

[意見・要望等]

- 1 委員から「特殊詐欺が増加傾向にあり、これだけの社会問題になっている中で、未だに騙される人がいるというのは、どこに問題があるのか。」と質問があり、署長から「私は騙されない、大丈夫、ではないですが、悪質巧妙な手口の現状を認識していない人、物事を疑わない人もいます。留守番電話機能の効果的活用、自動通話録音機能等の防犯機器の有効性の周知及び積極的設置に関する広報啓発活動を展開し犯人からの電話を受け付けない環境づくりを強力に推進しています。」と説明した。
- 2 委員から「特殊詐欺の被害は、一人暮らしの人が多いのか。」との質問があり、署長から「家族がいても、言葉巧みに騙されています。巧妙な手口から周りの意見も聞き入れず被害に気づかない被害認識がない被害者もいます。」と説明した。
- 3 委員から「6月24日に発生した死亡事故の再発防止対策とはどのような活動なのか」との質問があり、署長から「高齢者対策としては、管内の生活サイクルポイント（主にスーパー、病院、市役所）において「交通安全情報」チラシを利用しての横断禁止場所横断の注意喚起、ワンポイント強要及び反射材直接貼活動、ヒヤリ高齢者発見活動等による効果的な諸対策を強力に推進しています。」と説明した。

その他

詳細な会議録については、各警察署及び警視庁情報公開センターにおいて閲覧することができます。

平成29年度 第1回 田無警察署協議会 議事概要

開催日時 平成29年06月20日 午前10時00分～午後00時20分

開催場所 田無署 4階講堂  
出席者 協議会委員 9名  
署長ほか 3名

内容

会議に先立ち、会長及び副会長を互選した。  
交通課長、警備課長の出席については協議会の了解を得た。

[前回の答申等に対する警察署の取組結果]

「平成29年 春の全国交通安全運動の推進」について  
「事故にあわない・あわさない」をめざし、子供と高齢者の交通事故防止の為の強化をしていただきたい。  
「あらゆる機会を通じ子供と高齢者への声掛け、できるだけ多くの場所で実践的体験型の安全教室の実施をしていただきたい。」旨の答申を受け

[業務報告]

「平成29年6月現在の業務推進結果」について  
前回会議以降の「侵入窃盗、特殊詐欺等の犯罪発生・検挙状況と抑止対策」、「交通事故発生状況と春の交通安全運動の取組状況」等について報告した。

[諮問]

「災害に強い街づくり（防災対策と被害の抑止）」について  
近隣同士が助け合うことのできる街づくり

[答申]

「近隣者同士の助け合いがお互いの命を救うことにつながるもっとも重要な対策（活動）である」と聞いたことがありますが、  
1 近隣同士が助け合うことのできる街づくりのために、各自治体の活動やご苦勞をされた被災者方の声、体験談等を取込んだ効果的な防災訓練を数多く実施してもらいたい。  
2 各自治体においても課題となっている、震災等発生時の高齢者対策等実践的な教養訓練を実施してもらいたい。  
3 地域には空屋が増え、また放置状態のままの空屋も多く目にするようになり倒壊等の危険性も考えられることから、危険箇所等実態調査の対象としていただきたい。

[意見・要望等]

1 委員から、駐車監視員活動ガイドラインの見直しですが、「大型店舗の開店後は特に休日等に駐車場待ちの車両の渋滞が発生し、地域住民から苦情等があったが、今説明を聞き緩和された経緯がわかった。現在も対策は継続されているのか。」との質問があり交通課長から、「現在も各種対策を継続実施している。今後も地域の実態に即したガイドラインの見直し等、効果的な対策を図って行きます。」と回答した。  
2 委員から、「台風の接近等被害が予想される場合は、どのような対策を講じているのか。」との質問があり、署長から、「平素から危険箇所、冠水が予想される河川、幹線道路や地域の現場実査を繰返し実施するとともに資料化し、発生が予想される場合は、速やかに警戒員を配置、現場状況の把握と適切な現場活動に当たらせる体制の構築を図っている。」と回答した。

その他

次回（平成29年度2回）の会議は平成29年9月22日に開催予定とした。

詳細な会議録については、各警察署及び警視庁情報公開センターにおいて閲覧することができます。

平成28年度 第4回 田無警察署協議会 議事概要			
開催日時	平成29年03月28日 午前10時30分～午後00時15分		
開催場所	田無警察署4階 講堂	出席者	協議会委員 10名 署長ほか 3名
内 容			
<p>会議に先立ち、交通課長、刑事組織犯罪対策課長の出席について各委員から了承を得た。</p> <p>[前回の答申等に対する警察署の取組結果] 侵入窃盗被害の発生状況と対策について</p> <p>[業務報告] 平成29年3月現在の業務推進結果について</p> <p>[諮問] 「平成29年春の全国交通安全運動の推進」について</p> <p>[答申] 「事故にあわない・あわさない」をめざし、子供と高齢者の交通事故防止を重点に対策を講じてほしい。 あらゆる機会を通じ子供と高齢者に声を掛け、できるだけ多くの場所で、「参加型の安全教室」をお願いしたい。</p> <p>[意見・要望等]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>委員から「本年に入っても特殊詐欺が増加傾向にあると聞きましたが、田無警察署ではどのような対策を組んでいるのか。」との質問があり、署長から「現在署員一丸で推進している加電対策の他、管轄する交番勤務員の他、本署勤務員に担当地区を指定し、対象世帯への積極的な訪問活動を実施し、身近で発生しているという危機感と、警察がより身近にあるという安心感の醸成、被害防止に努めいきます。」と説明した。</li> <li>委員から「自転車利用者のマナーが非常に悪いので、対策を講じていただきたい。」との要望があり、署長から「取締りや指導警告活動を強化し、マナーの向上を図っていきます。」と説明した。</li> <li>委員から「高齢者の交通事故や徘徊等により保護される件数は多いのか。」との質問があり署長から「比率的には高いものがあるので、安全教育や市との連携強化により適正に対応していきます。」と説明した。</li> </ol>			
その他	平成29年度 第1回 警察協議会 6月実施予定		

詳細な会議録については、各警察署及び警視庁情報公開センターにおいて閲覧することができます。



平成28年度 第3回 田無警察署協議会 議事概要

開催日時 平成28年12月21日 午前10時30分～午前11時55分

開催場所 田無警察署4階講堂  
出席者 協議会委員 10名  
署長ほか 4名

内容

会議に先立ち、警備課長、刑事組織犯罪対策課長の出席について協議会各委員の了解を得た。

[前回の答申等に対する警察署の取組結果]  
管内防災対策と被害の抑止について

「万全の防災対策により被害の抑止に努めて頂きたい。」との答申を受け、自治会や民間団体等に対する防災講話を行い、広く市民の防災意識や防災技術の向上に努めたほか、自治体の総合防災訓練に参加し防災対策についてのDVDの上映、資機材や災害対策用車両の展示、資料配付等の広報活動を実施した。また、管内に新設されたビジネスホテルで行われた防災訓練に消防と連携して参加し、施設内の点検と管理者対策を実施するなど、自治体や市民との連携を重視した防災対策を推進することで今後も被害の抑止を図っていく旨説明した。

[業務報告]  
平成28年12月現在の業務推進結果について

前回会議以降の「検挙状況と抑止対策」、「交通事故発生状況」、「年末年始特別警戒の実施状況」等について報告した。

[諮問]  
侵入窃盗被害の状況と対策について

[答申]  
年末年始に限らず、効果的な対策を推進することで市民の財産を守って頂きたい。

[意見・要望等]

委員から「管内に大手のビジネスホテルが開業したが、防災対策や治安対策は大丈夫なのか。」との質問があり、署長から「消防と連携して防災訓練を実施したほか、管理者対策を徹底するなど治安対策も着実に進めています。」と説明した。

委員から「マスコミで、タンス預金は何十兆円にも及んでいる等の報道があるが、情報源は警察なのか。オレオレ詐欺等の犯罪を煽ることになるのではないか。」との質問があり、署長から「色々な目的でタンス預金がなされているようですが、警察からそのような広報はしていません。」と説明した。

委員から「オレオレ詐欺対策の一環として、一定の預金が引き出された場合、金融機関から警察に連絡がいくとのことだが、当事者とのトラブルは無いのか。」との質問があり、署長から「被害抑止という点でかなりの効果が出ています。金融機関の方々には負担をおかけしていますが、ご協力を頂いています。」と説明した。

委員から「侵入盗の被害が多い時間帯はいつ頃なのか。」との質問があり、署長から「一般的に家人が外出する昼間帯の被害が多くなっており、戸締まりの徹底をお願いしています。」と説明した。

委員から「介護向けのデイサービス業者等が、配達しやすいように住居の出入り口の施錠をしないよう要請するところがあるが、防犯上何らかの対策が必要ではないか。」との質問があり、署長から「実態を精査し、対応していきます。」と説明した。

委員から「マンション等の4階以上の部屋でもベランダから侵入されるとの話があったが、どのように上ってくるのか。」との質問があり、署長から「階数に関係なく、建物の構造上、入りやすいところが狙われています。」と説明した。

その他

詳細な会議録については、各警察署及び警視庁情報公開センターにおいて閲覧することができます。